

# ホスピタウン便り

発行責任者 ホスピタウン事務局  
VOL86 令和1年10月



## 市民フォーラム

### 第1回 共生社会を目指す市民の集いin米子2019

#### — 共生社会づくりは地域創生の基礎 —

共生社会とは、障がいのあるなしにかかわらず、女性も男性も、高齢者も若者も、すべての人がお互いの人権を尊重しあって支えあい、幸せに生きて行ける社会です。

共生社会を実現するには、女性や、障がい者に対する差別、偏見をなくすことに焦点が充てられていると思います。共生社会という言葉はとても響きもよく、最近は一般的にもよく知られるようになってきましたし、言葉としては受け入れられていると思います。

しかし、共生社会でも、特にまだ障がい者に対する差別の解消と理解、そして助け合いに関して、その重要性はどれだけ理解されているのか疑問であり、それ以上に実際に日々の生活で障がい者に対する理解をし、共生社会の理念にあった社会になっているかといえば、あまりできていないというのが実情と思います。

そのためNPO法人がいなネットと社会福祉法人真誠会は、令和元年9月23日米子文化ホール(メインホール)にて市民フォーラム 第1回共生社会を目指す市民の集いin米子2019を開催しました。

フォーラムには約500人の市民の皆さんが集まりました。私は、障がいに関して、特に発達障がいに対する解説を中心に話し、これからは各地域で地域包括ケアの一貫として共生社会の理解と実現に進むことの重要性をお話しました。

私の個人的な提案としては、各地区の地域ケア会議に必ず最低一人の障がい者の参加を促し、共生社会づくりが地域創生の基本として行政と地域が一体となり進めることだと提言しました。

参加した市民の皆さんは最後まで真剣に聞いていただき、エンディングでは「世界に一つだけの花」の歌が会場いっぱい響き渡りました。そしてたくさんの皆様から、「感動した」というお言葉をいただき、会の成功を実感しました。

NPO法人がいなネット、社会福祉法人真誠会は、今後毎年このフォーラムを開催し、共生社会を実現するための具体的な行動について啓発活動をしてゆきたいと思っております。



医療法人 社会福祉法人真誠会  
理事長  
真誠会セントラルクリニック  
名誉院長

小田 貢





だれもがしあわせになる

# 第1回 共生社会を目指す市民の集い in米子 2019

令和元年9月23日(月・祝)

障がい者を含めた社会的弱者の方への理解、愛情ある受け入れ、支援、そして共に生きて行く、共生社会を目指して、障がい者の皆さん、ご家族、そして社会全般の皆様が心を開いて理解し合う会を、「障がい者と市民の相互理解と出会いの場」というテーマで開催しました。

前半は、座長に大野耕策院長（おおのこども発達クリニック）を迎え、小田理事長による基調講演「障がい者に希望と太陽を」がありました。後半は、コーディネーターに小田理事長、大野院長、玉崎章子院長（博愛こども発達・在宅支援クリニック）を迎え、シンポジウムを行いました。障がい者福祉に関わる方々の体験談や取り組みの発表を通して、すべての人々がともに助け合って生きていく社会の実現について理解を深めました。



## オープニング

障がいがある人たちでつくる「りっふる音楽団」による演奏

## シンポジウム



小田理事長



大野先生



玉崎先生

コーディネーター



行政、福祉団体、障がい者当事者ら5人のパネリストの方々による体験談や取り組みの発表



満席に近い約500名の来場者



会場は、相談コーナーや健康チェックコーナー、福祉のお店や野菜販売、障がい児の作品展示もあり、多くの人で賑わいました。

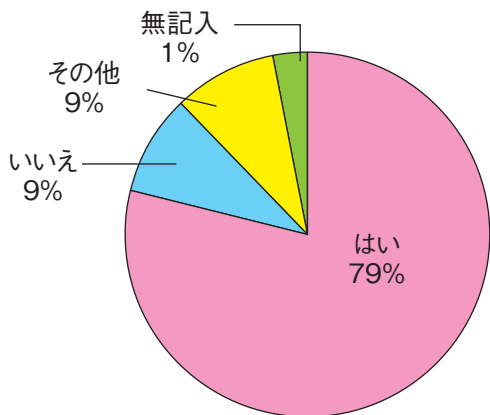


アンケート

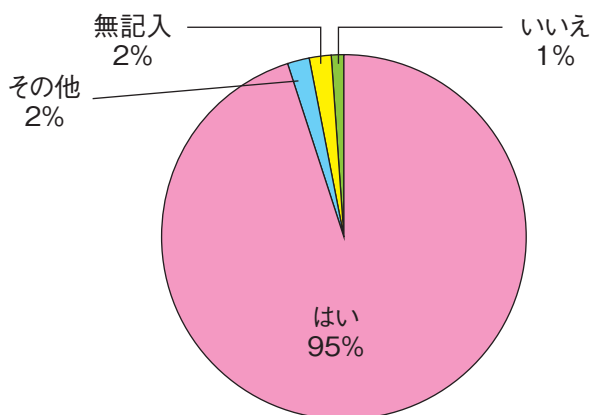
当日来場者／約500名 質問用紙:回収数／253名

回答者の62%は女性で、年齢は50代～90代が参加の80%を占めていました。講演もシンポジウムも7割が「良かった」と回答があり、「今後も続けてほしい」という声を多数いただきました。

今日のフォーラムに参加され障がいのある方に対するあなたの考え方は変わりましたか？



共生社会を目指すための市民フォーラムは今後も必要だと思いますか？



共生カフェ 出陣式

オレンジカフェは認知症の理解と認知症の方を支援するカフェです。

この度の共生カフェは、障がい者を含むすべての人の差別をなくし、お互いに支えあって幸せな生活をする、いわゆる共生社会の実現のための、啓発、連携の場所です。そのため、共生カフェでは障がいに関して勉強をしたり、社会のいろいろな差別について意見交換をします。



令和元年10月7日、小規模多機能型居宅介護 浜の絆で、8カ所の共生カフェの出陣式がありました。式に先立ち小田理事長が共生社会についてミニ講演を行いました。その後8カ所の共生カフェの代表者に共生カフェの旗が手渡され、富士見町ローズガーデン共生カフェの道祖事業所長が音頭をとり、エイエイオーの氣勢を上げました。

その後、約15分の「やさしい手話講座」がありました。そして、浜の絆の利用者、地域の方々、会に招待された障がい者の皆さん(もみの木園から4人)が和気あいあい茶菓で懇談しました。

真誠会は、共生社会の実現のためのリーダーシップを取るために、今後も引き続き、真誠会の行事には障がい者の皆さんを招待することを決めています。



「やさしい手話講座」の講師 新野真美氏



地元の自治会の皆さんも一緒になり共生社会について語りました



## 真誠会創立31周年記念講演

令和元年9月26日、真誠会創立31周年を記念して小田理事長が記念講演を行いました。

記念講演では主に、京セラ創業者である稲盛 和夫氏の教えについて職員が学びました。その教えは、仕事を通して自分を磨くことができ、それが自己実現に結びつくという内容です。

講演の中で小田理事長が示した稲盛氏の主な言葉の一部は、以下のようなものでありました。

- ・まず働くことが大切
- ・「愚直に、真面目に、地道に、誠実に」働け
- ・人生の真理は懸命に働くことで体得できる
- ・日々の労働によって心は磨かれる
- ・労働の意義、勤勉の誇りを取り戻そう
- ・働くことが「人をつくる」
- ・ど真剣に働く — 「人生を好転させる」法
- ・反省ある毎日を送る
- ・今日一日を精一杯努力しよう
- ・善なる動機をもてば、成功へと導かれる
- ・人生の目的は心を磨き、他に尽くすこと

稲盛和夫氏の著書より抜粋

小田理事長は、スタッフの一人一人が稲盛氏の言葉の一つだけでも自分に合った言葉を選び、自分のモットーにしてほしいと述べ講演を締めくくりました。



大勢の職員の前で記念講演を行う小田理事長

### 小田理事長 外部講演会実績の紹介

■5月16日

鳥取県医師会公開健康講座  
会場:鳥取県医師会  
演題「地域包括ケアとは  
医療福祉、自立と助け合い」

■6月18日

住吉公民館大学  
会場:住吉公民館  
演題「愛と人権」

■8月22日

米子市民生児童委員協議会「第3ブロック研修会」  
会場:皆生グランドホテル天水  
演題「今、民生児童委員に求められるもの  
地域包括ケアシステムの構築、実践」

## 日本臨床医学情報系連合学会名誉顧問 日本医療福祉学会特別理事 にダブル就任

7月18日、小田理事長は日本臨床医学情報系連合学会 名誉顧問に就任しました。また、8月12日には、日本医療福祉学会 特別理事に就任しました。

日本臨床医学情報系連合学会は、個別の臨床医学情報が漏れなく体系的に運用できるシステムの構築を目指す団体で、日本医療福祉学会や日本保健医療学会など医療・福祉分野の10団体で構成されている学会です。名誉顧問は全国で9名、鳥取県からは初の就任です。

日本医療福祉学会は、医療福祉の実務者や研究者が英知を集結し、安全で効率の良い医療福祉現場の確立や政治・行政への提言を行っています。特別理事は初めて設けられ、第1号として選ばれました。両学会とも理事、顧問はほとんどが大学教授、名誉教授あるいは国の研究機関の教授で構成されており、一般の法人から選出されるのは非常に稀なことです。



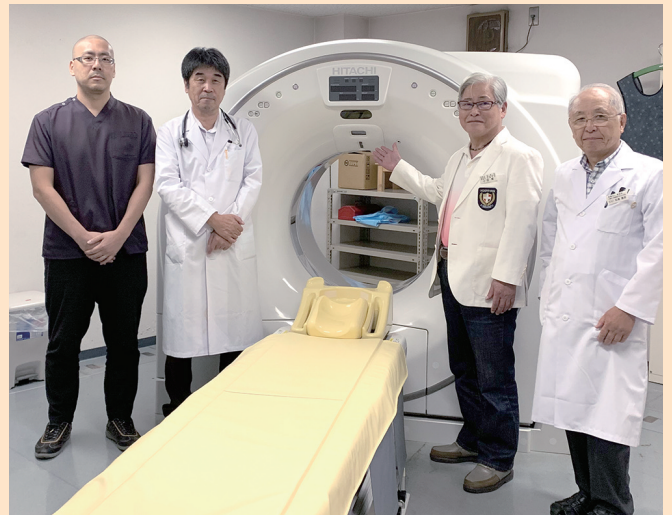
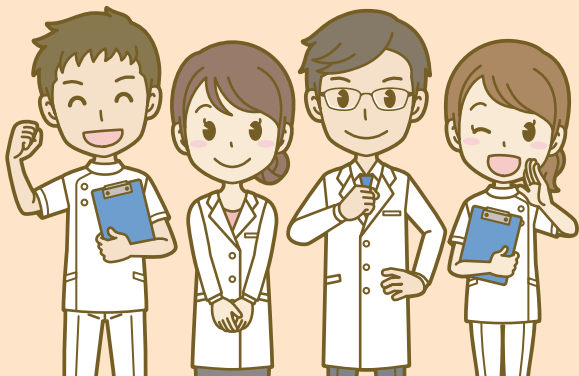


## 撮影時間も以前の装置より半分以下 新型CT装置導入と MR装置の バージョンアップ

真誠会セントラルクリニックは、9月末に従来のCT装置を最新のCT装置を更新しました。そのため短時間で撮影できたり、被爆放射線量が格段に減少しているため、患者さんの負担が少なくなりました。

セントラルクリニックでは、画像診断の専門医による読影をしていますので、これからも質の高い医療を提供していきます。

また、クリニックでは本年度中にMRの性能を向上するバージョンアップを行いますので、今まで以上の質の高いMR診断をしていきます。



新しいCT装置は、最新の「逐次近似再構成」技術を搭載しており、以前の装置に比較して画像が鮮明になり、体内に金属があっても影響を受けにくく診断価値の高い画像が撮影できます



“ボア”という体が入るCT装置の中心部分の空洞も大きくなり、患者さんにとって圧迫感が少なくなっています

## 日本老年医学会中国地方会で 若手奨励賞を受賞

令和元年10月5日、岡山大学医学部で第31回日本老年医学会中国地方会が開催されました。そこで、真誠会セントラルクリニック河崎院長の指導のもと、介護老人保健施設ゆうとぴあ理学療法士岡田陸さんが「老健施設入所者における咳嗽時最大呼気流量と肺炎罹患との関係」の発表で若手奨励賞を受賞しました。





# 養護老人ホーム真誠会 皆生エスポワール お披露目式

令和元年7月22日



足立施設長よりスタッフの紹介

令和元年7月22日に行政関係者、関係団体、近隣自治会長の皆様をお招きしてお披露目式を行いました。式では米子市長をはじめ、鳥取県福祉保健部長から祝辞を頂きました。

玄関や水回りや椅子などの老朽化した施設環境を可能な範囲で改修し、皆さんが安心して生活できる環境改善や、支援に尽力していく所存です。



6月5日には皆生エスポワール職員団結式を行いました

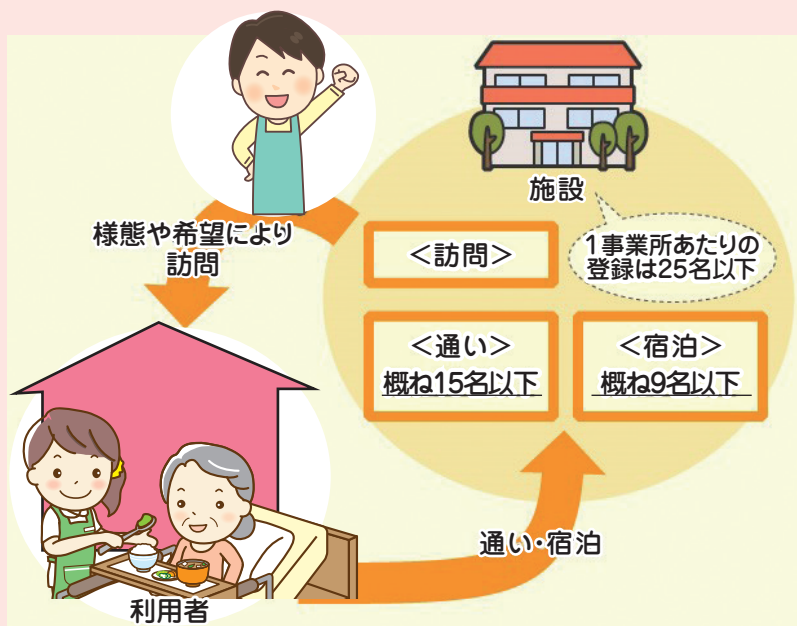
## 福生東に小規模多機能型居宅介護 真誠会プラザ認可

社会福祉法人真誠会は、令和2年9月頃、福生東地区に小規模多機能型居宅介護を建設することが決まりました。工期は令和2年4月から8月の予定で、同施設の名称は、「真誠会プラザ」の予定です。

小規模多機能型居宅介護の機能は、通所ときどき泊まりですが、この真誠会プラザには地域交流スペースが設けてあり、地域の皆さんとの交流、勉強会などに使うことができるようになっています。

### 小規模多機能型居宅介護

少人数の家庭的な雰囲気の中、デイサービスを中心に、ショートステイのほか訪問介護の3種類のサービスを組み合わせ提供しています。心身の状態により夜間の介護が必要になったときも臨機応変に宿泊できます。顔なじみの職員が担当する安定した介護環境は認知症ケアに向いています。





# 第2回 支え愛センター交流会

ボランティア団体・  
自主活動団体 意見交換会

## 小さい努力が社会を変える

令和元年7月23日に、NPO法人がいなネット主催、社会福祉法人真誠会共催で「第2回支え愛センター交流会」を日野原・小田記念ホールにて開催しました。

真誠会は県や市から補助を受け「弓浜支え愛センター」「福米支え愛センター」の2カ所を運営しており、2つの支え愛センターの利用状況等の報告もありました。統計では、福米支え愛センターは、子育て支援に関する団体が多く利用されています。1か月の3分の2の利用があり、畳の部屋やカウンターキッチンもあるので、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に好評で、料理教室や子ども向けの調理実習にもよく利用されています。

また、和田にある弓浜支え愛センターは、地域の方々が中心となり、各種会合、交流行事、ギャラリー等を開催し、地域の情報発信拠点として利用されています。

今年も、たくさんのボランティア団体、自主活動団体、地域の団体の約100名の参加があり、日ごろの活動について発表していただきました。そして、鳥取県、米子市福祉保健部の行政の方々も多数ご参加いただき、グループディスカッションにも加わっていただきました。



講演を行う小田理事長  
演題「差別のない共生社会」

### ボランティア団体の活動報告



がいなネット子育て教育部  
松本寿 栄子 氏

2・3か月に1度の定例会を開催し、情報交換会や勉強会、そして年に一度は子育てフォーラムを開催しています



よなご傾聴しあわせの会 松中 靖 氏

傾聴ボランティアを山陰発、米子の地で活動しています



今年も多くの皆様に参加していただき、各活動団体の発表に熱心に耳を傾けていました。



地域の困りごとを  
解決するにはどうしたら  
いいかな？

グループディスカッションの様子



# 真誠会 地域交流プロジェクト

地域にお住まいの方々と積極的に交流しています

和田  
地区

## 看護小規模多機能型居宅介護ふる里

### オレンジカフェお庭サロン



認知症をはじめ高齢者の悩み相談及び意見交換の場・気軽に立ち寄れる憩いの場として、『カフェお庭サロン』（自宅の庭先・作業場・駐車場等を借りてのサロン）を実施しています。

今まであまり参加されなかった方も、身近な場所での開催により気軽に参加されるようになり、サロンの輪の中で人と出会い、知り合う関係になり、暮らしの情報を共有できるようになりました。

『カフェお庭サロン』は、身近な居場所、寄り処として、「笑い!」「瞬間夢中!」「楽しい!また来たい!」をキーワードに、今後も地域のためのカフェとして活動していきます。



4月に行われた桃サロン  
今日も元気でヨイショ!コール



5月のサロンの様子  
駐車庫でも開催しています

崎津  
地区

## 崎津活性化プロジェクト 崎津夢農園

### 第3回さつまい収穫祭



5月に植えたさつまいが収穫の時期を迎え、9月25日に利用者、地域住民、小学生、園児の総勢90名が集い収穫祭を行いました。今年は天候に恵まれ立派なさつまいがたくさん収穫できました。当日は、地域のご婦人たちが作って下さった芋汁やさつまいおにぎりを食べながら豊作を祝いました。



うんとこしょ、どっこいしょ  
掘っても掘ってもお芋だらけ!



芋汁がほんに  
おいしいわ~



## 地域のお祭りに出店 米子ケヤキ通り祭り

毎年秋に米子産業体育館で開催の第12回ケヤキ通り祭りに、今年も真誠会介護会が出店しました。今年で4回目の出店となります。毎年好評の豚汁を販売し、握力測定や体力測定、介護用のリフト体験をしていただき、介護への理解を深めました。



多くの方が真誠会のブースに遊びにきてくれました

## 楽しみながら脳を活性化！米子人生大学

通所リハビリテーションゆうとぴあ 健康運動指導士 山崎 慎吾

令和元年5月22日、米子市文化ホールで開催された米子人生大学で、テーマ「春はポカポカいい天気！楽しく動かし脳元気!!」と題し、認知予防・脳活性の運動について講義をさせていただきました。会場には約200名の聴講者がいました。

内容は認知症の簡単な基礎知識、認知症予防に効果のある運動を紹介。運動の紹介では、どのように、どんなふうな運動をしたらいいかを分かりやすく、具体的にお話しました。また、会場の皆様に実際に認知機能低下予防プログラム「シナプソロジー®」を体験してもらいました。「シナプソロジー®」とは、楽しく「脳を」活性化させて、認知機能の低下を予防するプログラムです。「二つのことを同時に行う」「左右で違う動きをする」といった、普段慣れない動きをすることによって脳を適度に混乱させ、認知機能の低下を予防します。笑顔やコミュニケーションが生まれ、飽きることなく、楽しく続けられるのが特徴です。会場の皆様も大きな声で笑い、楽しく参加して頂きました。



# 「全日本トライアスロン皆生大会」に初出場

真誠会トライアスロンチーム 監督 長山 誠司

令和元年7月14日、第39回全日本トライアスロン皆生大会に「チーム真誠会」が初出場しました。スイム3キロ、バイク140キロ、ラン42.195キロを3名で分担し、完走を目指しました。今回、職員から体力自慢で出場希望の精鋭を4名（1名補欠）揃えました。

スイムは私が担当しました。私自身、この大会は10年振り12回目の出場でした。大会10日前に急遽スイムでの出場が決まり調整が大変でしたが、補欠として全種目の練習を行っていたので、無事に次のバイクに繋ぐことができました。

バイクは谷田周二君が担当しました。本大会の最大の難関がアップダウンとコーナーが連続するバイクコースです。早朝練習を行い、また地元の利を生きし何度も何度も大会コースを試走し難所対策を行いました。家族のバックアップも大きな支えとなりました。

ランは柿本和也君が担当しました。信号に従って走るため、ペースが乱れて大変でした。

しかし、真誠会の施設前を走った時の入所者の方々からの声援、そしてエイドステーションでボランティアしている職員からは激励をいただき、ゴールまで一気に駆け抜けることができました。

全員でゴールテープを切った時の感動は、忘れることができません。応援いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

総合順位は61チーム中32位。来年も出場予定なので、我もと思う体力自慢がおられましたら、連絡お待ちしております。



左から長山誠司(スイム)、柿本和也(ラン)、谷田周二(バイク)

## 健康づくり、腰痛予防に 職員対象ヨガ教室

ヨガ講師／真誠会セントラルクリニック 看護師 大場 織枝

医療・福祉に携わる私たちの仕事は、職員一人ひとりが健康でいきいきと輝いてこそ、いいサービスを提供することができます。職員の健康づくりのために、ヨガインストラクターの資格を取得し、職員対象にヨガ教室を開きました。

ヨガ教室を開こうと思ったきっかけは、仕事柄、腰痛を抱えている職員が多いので、腰痛予防やヨガを通してストレスを開放できる場があればと思い教室を開きました。

参加した方からはとても良かったとの声をいただいております。仕事の都合などで参加できなかった職員もいますので、2回目を是非開催し、多くの方に参加していただきたいと思っております。



ヨガは毎日の暮らしの中の心身のアンバランスが原因でひき起こされる病気の予防・改善に期待できます



## 働きやすい職場づくり

スタッフも笑顔でつながっています。幸せに満ちた、あったかい職場なんです。

ありがとう  
ありがとう♡

真誠会は社内結婚も多く、夫婦で働いていたり、親子で働いている方もあり、働きやすい職場を目指しています。

真誠会の仲良し3きょうだいを紹介します。

3人共、介護福祉士として切磋琢磨しながら介護の世界でイキイキと働いています。



吉岡光平  
次男  
2017年入社

吉岡安佑実  
長女  
2012年入社

吉岡桂佑  
長男  
2014年入社

## 人形劇団「いとぐるま」が真誠会にやってきた!

介護老人保健施設ゆうとぴあで、人形劇団いとぐるまによる演劇が行われました。人形劇団いとぐるまは、ゆうとぴあ職員の小磯孝則作業療法士をはじめとする劇団のメンバーが自主ボランティア活動を行っています。

演目は「人形峠のばけぐも」という、鳥取県の民話を題材とし、方言を交えての語り口が特徴的でした。



劇終了後は、劇団員が人形を持ってみなさんにご挨拶

人形の語りと、色とりどりの照明で、昔の子供時代にタイムスリップしたよう  
利用者も目を輝かせながら見入りました。



中秋の名月  
心ゆくまで

すばらしい月に  
拍手

令和元年9月13日に、ケアハウス「リバーサイド」2階のベランダにてお月見会を開きました。観覧席には、ススキやリンドウ、カスミノウと月見団子を飾り、ぜんざいが振舞われました。令和の最初の中秋の名月に、入所者からは、秋風を感じながら美しい夜空を見て、感謝の気持ちを込め手を合わせました。



まあ～  
見事なお月さま





# 真誠会の夏!!

8月17日



## 弓浜ホスピタウン 地域交流夏祭り 皆様に親しまれ20回目の開催

弓浜ホスピタウンで「第20回地域交流夏祭り」が開かれ、施設の利用者や職員、地域住民が交流を深めました。ステージでは地域で活動する同好会など、太鼓、歌、踊りが披露されました。参加者はジュースやかき氷、射的、ヨーヨー釣りなどの屋台で祭りを楽しみました。



職員によるソーラン節



ステージでの催しに、会場の皆さんも大盛り上がり!



春蘭会様による舞踊

### イベント インフォメーション

## EVENT INFORMATION



### 第15回 弓浜助け合いネットワークの会

日時:令和元年12月1日(日)13時~15時30分

場所:弓浜ホスピタウン 2000年ホール  
米子市大崎1511番地1

テーマ:住民主体の共生社会づくり



だれもが、しあわせになる共生社会を目指して開催いたします。  
基調講演、そして地域からの発表を通して、共生社会をどう考え、地域活動へどう繋げていくかを、皆様と一緒に考えていきたいと思ひます。

喫茶や展示コーナーも準備しておりますので、お誘いあわせの上、是非お越し下さいませ。

**【お問合せ先】弓浜助け合いネットワーク事務局**  
米子市弓浜地域包括支援センター内 ☎(0859) 48-2330

主催:米子市(米子市弓浜地域包括支援センター)・弓浜助け合いネットワーク実行委員会  
共催:社会福祉法人真誠会・NPO法人がいなネット